

North Pacific Anadromous Fish Commission

29th Virtual Annual Meeting
2021 May 10–20

FOR IMMEDIATE RELEASE

北太平洋溯河性魚類委員会、仮想第 29 回年次会合を開催

カナダバンクーバー（2021 年 5 月 28 日）—北太平洋溯河性魚類委員会（NPAFC）の仮想第 29 回年次会合が、2021 年 5 月 10 日から 20 日までビデオ会議として開催されました。

NPAFC は、北太平洋と隣接海域の太平洋サケマス資源の保全を推進する、取締活動と科学研究における協力と連携の国際機関です。北太平洋で漁獲されるサケマスは、そのほとんどが NPAFC 締約国、すなわちカナダ、日本、韓国、ロシア、米国を起源とする魚です。

NPAFC の年次会合において、全体会議に加え、取締小委員会、科学調査統計小委員会、財政運営小委員会という 3 つの小委員会が招集され、NPAFC 条約水域におけるサケマスに関する問題を議論しました。NPAFC 条約水域とは、沿岸国の 200 海里水域（排他的経済水域）を除く、北太平洋の北緯 33 度以北の公海です。

締約国は 2020 年の取締小委員会で調整された取締活動について議論を行いました。これらの活動は、条約水域の大部分を対象とし、航空パトロール延べ 390 時間以上、船舶航海日数延べ 136 日の取締活動を行い、違法、無報告、無規制（IUU）漁業の抑止と阻止に努めました。こうした多国間の取組により、北太平洋の地域漁業管理機関が設定した保存管理措置に対する複数の違反事例が確認されましたが、公海流し網又はサケマス類の違法な保持は認められませんでした。

科学小委員会においては、主要なサケマス研究者が各締約国から集まり、締約国からの情報をまとめた商業漁業の漁獲統計を検討しました。2020 年のサケマスの総漁獲量（速報値）は 60 万 6,700 トン（3 億 2,230 万尾）でした。

商業漁業の漁獲量のうち、大半がカラフトマス（重量ベースで 46%）であり、シロザケ（27%）、ベニザケ（23%）と続きます。ギンザケは漁獲量の 3%、マスノスケ、サクラマス、スチールヘッドはそれぞれ漁獲量の 1%未満です。

2021 年には、ベーリング海西部及び北部、北太平洋北西部、オホーツク海南部で航海調査が予定され、回遊時期、豊度、分布、生残率、海洋生態系、遡上サイズの予測、系群識別、海洋におけるサケマスの成長と魚体状況などを調査します。

国際サーモン年（IYS）は、北半球で広がるパートナーシップを構築・強化しながら、年間を通じて活発な活動を展開しています。2020 年アラスカ湾共同調査の予備結果を検討するために開催された仮想イベントに加えて、IYS が複数の仮想会議やワークショップに参加しました。IYS は、Richard Beamish 氏と Brian Riddell 氏と協力して、2021 年 4 月に「*2021 Conference on the Winter Ecology of Pacific Salmon: Results from the 2019 and 2020 Gulf of Alaska*

Expeditions] を企画・開催しました。この会議では、アラスカ港共同調査に参加したカナダ、日本、韓国、ロシア、米国の科学者らの発表に加え、これまでの国際アラスカ港共同調査の結果に基づく今後の2022年パンパシフィック冬期公海調査(2022 Pan-Pacific Winter High Seas Expedition)を巡る専門家らの議論がありました。現在、IYSがこの会議で得られた最も重要な知見や成果を紹介する一連の記事を公表するために準備しています。

2022年にIYSが最終年を迎えるにあたって、北大西洋さけ・ます保存機関(NASCO)のメンバーを含むSymposium Steering Committeeと協力しながら、2022年10月4日~10日にカナダ、バンクーバーで開催されるIYS最終シンポジウム(Concluding IYS Symposium)の計画を整えています。シンポジウムでは、IYSの間に得られた知識を検討するとともに、最も重要なこととして、急速に変化する世界においてサケマスを支援するために、サケマスの研究及び管理政策に求められる今後の要件を明らかにしていきます。

会議では、退任する員であるSuam Kim議長(韓国)、Doug Mecum副議長(米国)、3つの小委員会の議長—Brad Wattie(カナダ)、福若 雅章(日本)、Vladimir Belyaev(ロシア)—に対してNPAFCのための献身的な貢献に感謝を表しました。

NPAFCは、2年の任期を務める新役員: Doug Mecum議長(米国)、Vladimir Belyaev副議長(ロシア)、3つの小委員会の議長—福田 工(日本)、Ju Kyoung Kim(韓国)、John Holmes(カナダ)を歓迎しました。2021年のバーチャルNPAFC年次会合は、日本の函館市で開催される2022年の年次会合の案内で幕を閉じました。

-END-

Contact: Vladimir Radchenko
NPAFC Executive Director
Phone: +1-604-775-5550
E-mail: secretariat@npafc.org
Website: <https://npafc.org>

About NPAFC

The NPAFC is an international organization that promotes the conservation of salmon (chum, coho, pink, sockeye, Chinook, and cherry salmon) and steelhead trout in the North Pacific and its adjacent seas, and serves as a venue for cooperation in, and coordination of, scientific research and enforcement activities. The NPAFC Convention Area is located in international waters north of 33°N latitude in the North Pacific, Bering Sea and the Sea of Okhotsk beyond the 200-mile zones of coastal States. NPAFC member countries include Canada, Japan, the Republic of Korea, the Russian Federation, and the United States of America.
